

※ 必要に応じ、切り取ってお手元に保管ください。

## 小布施町 自殺対策の取り組みと状況

生き心地の良い小布施町を目指して、心の健康づくりや引きこもり、生活困窮問題などさまざまな悩みに対応した相談事業を進めます。どなたもが住みやすく、暮らしやすい町と感じられるよう、関係機関と連携した支援に取り組みます。

### 【主な取り組み】

#### ■心のサポートと母子・子育て世代支援の推進【健康福祉課】

自殺対策として、経済的・社会的なさまざまな悩みを抱えている方に対する相談支援の取り組み強化（相談会・講演会の実施）を広域で連携し進めています。また、中学2年生に対するSOS研修と全員面談、小学校6年生に対する全員面談を実施しています。

### 【小布施町自殺対策の状況】

町全体の自殺者は減少の傾向にあります。

#### 【全国及び長野県、小布施町における動向】

厚生労働省が公表した令和3年の自殺者数は20,830人（速報値） 対前年251人減少となっており、全国的に減少傾向になっています。

#### 平成28年から令和2年（5年間の通算）

	自殺者数	自殺者数年平均	自殺死亡率平均
全国	104,379人	20,875.8人	16.4
長野県	1,718人	343.6人	16.3
長野医療圏	418人	83.6人	15.3
小布施町	5人	1人	9.0
<b>当町の計画前</b>	<b>23人</b>	<b>2.9人</b>	<b>25.3</b>
	(H21-28)8年間の通算		(当時：長野県21.4)

(出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」、厚生労働省「人口動態統計」等)

注) 自殺死亡率平均が低くなるよう対策を進めています。

町自殺対策計画では、計画最終年度の平成34（令和4）年までに、

**年間自殺者数を0人とすることを町の目標に掲げていました。目標は達成できていません。**

\* 令和3年以降の上記データは、国の地域自殺実態プロファイルが更新され次第、更新しお知らせします。

### 【小布施町自殺対策の課題】

ひきこもり対策やヤングケアラーに対する支援など新たな社会問題への対応が重要となっています。一方、小布施町の状況は平成30年に民生委員が県調査に対して行った「ひきこもりに関する調査」で確認されたひきこもりの人数12人がわずかにデータとして確認できているのみです。

課題となる生活困窮や発達障害に起因する就労など対応が必要とされる方々に対する相談・支援の充実のため、町が一体となった支援体制づくりが必要になっています。

また、適切なサービス・サービス主体につなげるためにケースワークを担う人材の確保は不可欠であり、町役場として組織的に人員体制の強化を進める必要があります。

包括的な相談・支援体制の確立に向けた組織づくりが急務です。